中学地理プリント（書き取り）
東北地方 No.1

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／20

1. 長い歴史の中で培われ、その土地の技法や文化を伝承している工芸品をまとめて何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
2. ねぶた祭が毎年夏に開催される都道府県はどこ？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
3. 地震などの影響で海底が隆起や沈降し、海水が急激に押し寄せる自然災害を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
4. 福島県を分ける3つの地域のうち、最も東側に位置する太平洋側の地域を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
5. 東北地方の夏の冷涼な風による冷害被害を抑えるために開発された、低温でも育ちやすい稲の品種を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
6. 青森県のねぶた祭などが含まれる、本州の北側にある地域を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
7. 宮城県の北部など、入り組んだ海岸線が特徴的で養殖業が盛んな地形を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
8. 宮城県で開発され、あっさりした食感でかつて全国的な人気を博した米の品種を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
9. 東北地方の中央を南北に走り、日本海側と太平洋側の気候を分けている山脈を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
10. 福島県の東部を南北に走る、地域間の気候の違いを生み出している高地を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
11. やませが長時間吹き続けることで気温が上がらず、農作物の成長が妨げられる被害を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
12. 東北地方を南北に縦断するように走り、この地域の地形を分ける背骨のような役割を果たす山脈を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
13. 青森県が全国で最も多く生産しており、冷涼な気候をいかして栽培されている果物を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
14. 三陸海岸に特徴的に見られる、山地が海に沈んで複雑に入り組んだ地形を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
15. 秋田県にあり、雄物川の下流に広がる、稲作が盛んな平野を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
16. 三陸海岸の沖合で、寒流と暖流がぶつかり合うことで魚が集まりやすくなっている場所を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
17. 岩手県の内陸部に広がる北上盆地などで盛んに行われている、米を栽培する農業を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
18. 岩手県で伝統的な技術を受け継いで作られている、古くから全国的に有名な工芸品を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
19. 宮城県の県庁所在地であり、東北地方の政治・経済・文化の中心となっている都市を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
20. 奥羽山脈が冬に日本海側からくる風を遮ることで、気候の違いを生む要因となる風を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「東北地方」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.1 東北地方

言えた　／20

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	伝統的工芸品とは、主として日常生活で使用される器具や道具で、製造の過程が昔からの技術・技法によって行われているものです。	伝統的工芸品	□
2	青森県は歴史的に独自の文化圏を形成しており、ねぶた祭はその代表的な行事です。	青森県	□
3	津波は、地震による海底の地殻変動によって引き起こされる、非常に波長の長い波です。	津波	□
4	県東部の太平洋側に広がる平地を「浜通り」と呼びます。	浜通り	□
5	耐冷品種とは、低い気温でも生育が阻害されにくく、実を結びやすいように品種改良された稲のことです。	耐冷品種	□
6	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県からなる地域です。	東北地方	□
7	リアス海岸は、入り組んだ湾が続いているため波が穏やかで、栄養分が豊富な海水が入ってくるという特徴があります。	リアス海岸	□
8	ササニシキは、宮城県を代表する米の品種として一時期全国的な人気を博しました。	ササニシキ	□
9	奥羽山脈は、青森県から福島県まで東北地方の中央部を南北に走っています。	奥羽山脈	□
10	「阿武隈高地」は、福島県の東部を南北に縦断する山地です。	阿武隈高地	□
11	初夏に吹き込む冷たい風「やませ」の影響で夏の気温が低く推移すると、農作物が十分に育たない「冷害」が発生します。	冷害	□
12	「奥羽山脈」は、東北地方の中央を南北に走る山脈で、その長さから「東北の背骨」と呼ばれます。	奥羽山脈	□
13	青森県は日本一のりんご生産量を誇ります。	りんご	□
14	リアス海岸は、海岸線が非常に複雑に入り組んでいて出入りが多いのが特徴です。	リアス海岸	□
15	秋田平野は、日本でも有数の面積を誇る平野です。	秋田平野	□
16	この二つの海流がぶつかる境界域を「潮目（しおめ）」や「潮境」と呼びます。	潮目	□
17	この地域では、広大な水田を利用して稲作が盛んに行われています。	稲作	□
18	南部鉄器は、鉄鋳物による工芸品で、耐久性が高く、使い込むほどに味わいが出るのが特徴です。	南部鉄器	□
19	仙台市は宮城県の県庁所在地であり、東北地方で最も人口が多い都市です。	仙台市	□
20	冬には、シベリア方面から日本海を渡って湿った空気を運ぶ「季節風」が吹きます。	季節風	□

言えなかった用語ノート

中学地理プリント（書き取り）
東北地方 No.2

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／21

1. 宮城県の北部など、入り組んだ海岸線が特徴的で養殖業が盛んな地形を何という？
2. 山形県で、盆地特有の気温差を生かしてさくらんぼや西洋なしなどを育てる農業を何という？
3. 青森県と北海道の間にある、津軽半島と下北半島の北側に広がる海峡を何という？
4. 三陸海岸の沖合で、寒流と暖流がぶつかり合うことで魚が集まりやすくなっている場所を何という？
5. 青森県が全国で最も多く生産しており、冷涼な気候をいかして栽培されている果物を何という？
6. 長い歴史の中で培われ、その土地の技法や文化を伝承している工芸品をまとめて何という？
7. 宮城県で開発され、あっさりした食感でかつて全国的な人気を博した米の品種を何という？
8. 東北地方を南北に縦断するように走り、この地域の地形を分ける背骨のような役割を果たす山脈を何という？
9. 地震などの影響で海底が隆起や沈降し、海水が急激に押し寄せる自然災害を何という？
10. 東北地方の中央を南北に走り、日本海側と太平洋側の気候を分けている山脈を何という？
11. 岩手県で伝統的な技術を受け継いで作られている、古くから全国的に有名な工芸品を何という？
12. 福島県の東部を南北に走る、地域間の気候の違いを生み出している高地を何という？
13. 奥羽山脈が冬に日本海側からくる風を遮ることで、気候の違いを生む要因となる風を何という？
14. ねぶた祭が毎年夏に開催される都道府県はどこ？
15. 宮城県の県庁所在地であり、東北地方の政治・経済・文化の中心となっている都市を何という？
16. 東北地方の夏の冷涼な風による冷害被害を抑えるために開発された、低温でも育ちやすい稲の品種を何という？
17. 福島県を分ける3つの地域のうち、最も東側に位置する太平洋側の地域を何という？
18. やませが長時間吹き続けることで気温が上がらず、農作物の成長が妨げられる被害を何という？
19. 青森県のねぶた祭などが含まれる、本州の北側にある地域を何という？
20. 岩手県の内陸部に広がる北上盆地などで盛んに行われている、米を栽培する農業を何という？
21. 三陸海岸に特徴的に見られる、山地が海に沈んで複雑に入り組んだ地形を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「東北地方」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.2 東北地方

言えた　／21

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	リアス海岸は、入り組んだ湾が続いているため波が穏やかで、栄養分が豊富な海水が入ってくるという特徴があります。	リアス海岸	□
2	この地形上の特徴を活かし、寒暖差が必要な果物の生産が非常に盛んです。	果樹栽培	□
3	津軽海峡は日本海と太平洋を結ぶ海域です。	津軽海峡	□
4	この二つの海流がぶつかる境界域を「潮目（しおめ）」や「潮境」と呼びます。	潮目	□
5	青森県は日本一のりんご生産量を誇ります。	りんご	□
6	伝統的工芸品とは、主として日常生活で使用される器具や道具で、製造の過程が昔からの技術・技法によって行われているものです。	伝統的工芸品	□
7	ササニシキは、宮城県を代表する米の品種として一時期全国的な人気を博しました。	ササニシキ	□
8	「奥羽山脈」は、東北地方の中央を南北に走る山脈で、その長さから「東北の背骨」と呼ばれます。	奥羽山脈	□
9	津波は、地震による海底の地殻変動によって引き起こされる、非常に波長の長い波です。	津波	□
10	奥羽山脈は、青森県から福島県まで東北地方の中央部を南北に走っています。	奥羽山脈	□
11	南部鉄器は、鉄鋳物による工芸品で、耐久性が高く、使い込むほどに味わいが出るのが特徴です。	南部鉄器	□
12	「阿武隈高地」は、福島県の東部を南北に縦断する山地です。	阿武隈高地	□
13	冬には、シベリア方面から日本海を渡って湿った空気を運ぶ「季節風」が吹きます。	季節風	□
14	青森県は歴史的に独自の文化圏を形成しており、ねぶた祭はその代表的な行事です。	青森県	□
15	仙台市は宮城県の県庁所在地であり、東北地方で最も人口が多い都市です。	仙台市	□
16	耐冷品種とは、低い気温でも生育が阻害されにくく、実を結びやすいように品種改良された稲のことです。	耐冷品種	□
17	県東部の太平洋側に広がる平地を「浜通り」と呼びます。	浜通り	□
18	初夏に吹き込む冷たい風「やませ」の影響で夏の気温が低く推移すると、農作物が十分に育たない「冷害」が発生します。	冷害	□
19	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県からなる地域です。	東北地方	□
20	この地域では、広大な水田を利用して稲作が盛んに行われています。	稲作	□
21	リアス海岸は、海岸線が非常に複雑に入り組んでいて出入りが多いのが特徴です。	リアス海岸	□

言えなかった用語ノート

中学地理プリント（書き取り）
東北地方 No.3

名前

得点 ／21

1. やませが長時間吹き続けることで気温が上がらず、農作物の成長が妨げられる被害を何という？
2. 三陸海岸の沖合で、寒流と暖流がぶつかり合うことで魚が集まりやすくなっている場所を何という？
3. 地震などの影響で海底が隆起や沈降し、海水が急激に押し寄せる自然災害を何という？
4. 長い歴史の中で培われ、その土地の技法や文化を伝承している工芸品をまとめて何という？
5. 東北地方を南北に縦断するように走り、この地域の地形を分ける背骨のような役割を果たす山脈を何という？
6. 青森県が全国で最も多く生産しており、冷涼な気候をいかして栽培されている果物を何という？
7. 宮城県の県庁所在地であり、東北地方の政治・経済・文化の中心となっている都市を何という？
8. 福島県を分ける3つの地域のうち、最も東側に位置する太平洋側の地域を何という？
9. 三陸海岸に特徴的に見られる、山地が海に沈んで複雑に入り組んだ地形を何という？
10. 秋田県にあり、雄物川の下流に広がる、稲作が盛んな平野を何という？
11. 東北地方の中央を南北に走り、日本海側と太平洋側の気候を分けている山脈を何という？
12. ねぶた祭が毎年夏に開催される都道府県はどこ？
13. 福島県の東部を南北に走る、地域間の気候の違いを生み出している高地を何という？
14. 奥羽山脈が冬に日本海側からくる風を遮ることで、気候の違いを生む要因となる風を何という？
15. 山形県で、盆地特有の気温差を生かしてさくらんぼや西洋なしなどを育てる農業を何という？
16. 宮城県で開発され、あっさりした食感でかつて全国的な人気を博した米の品種を何という？
17. 宮城県の北部など、入り組んだ海岸線が特徴的で養殖業が盛んな地形を何という？
18. 岩手県で伝統的な技術を受け継いで作られている、古くから全国的に有名な工芸品を何という？
19. 青森県のねぶた祭などが含まれる、本州の北側にある地域を何という？
20. 青森県と北海道の間にある、津軽半島と下北半島の北側に広がる海峡を何という？
21. 東北地方の夏の冷涼な風による冷害被害を抑えるために開発された、低温でも育ちやすい稲の品種を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「東北地方」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.3 東北地方

言えた　／21

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	初夏に吹き込む冷たい風「やませ」の影響で夏の気温が低く推移すると、農作物が十分に育たない「冷害」が発生します。	冷害	□
2	この二つの海流がぶつかる境界域を「潮目（しおめ）」や「潮境」と呼びます。	潮目	□
3	津波は、地震による海底の地殻変動によって引き起こされる、非常に波長の長い波です。	津波	□
4	伝統的工芸品とは、主として日常生活で使用される器具や道具で、製造の過程が昔からの技術・技法によって行われているものです。	伝統的工芸品	□
5	「奥羽山脈」は、東北地方の中央を南北に走る山脈で、その長さから「東北の背骨」と呼ばれます。	奥羽山脈	□
6	青森県は日本一のりんご生産量を誇ります。	りんご	□
7	仙台市は宮城県の県庁所在地であり、東北地方で最も人口が多い都市です。	仙台市	□
8	県東部の太平洋側に広がる平地を「浜通り」と呼びます。	浜通り	□
9	リアス海岸は、海岸線が非常に複雑に入り組んでいて出入りが多いのが特徴です。	リアス海岸	□
10	秋田平野は、日本でも有数の面積を誇る平野です。	秋田平野	□
11	奥羽山脈は、青森県から福島県まで東北地方の中央部を南北に走っています。	奥羽山脈	□
12	青森県は歴史的に独自の文化圏を形成しており、ねぶた祭はその代表的な行事です。	青森県	□
13	「阿武隈高地」は、福島県の東部を南北に縦断する山地です。	阿武隈高地	□
14	冬には、シベリア方面から日本海を渡って湿った空気を運ぶ「季節風」が吹きます。	季節風	□
15	この地形上の特徴を活かし、寒暖差が必要な果物の生産が非常に盛んです。	果樹栽培	□
16	ササニシキは、宮城県を代表する米の品種として一時期全国的な人気を博しました。	ササニシキ	□
17	リアス海岸は、入り組んだ湾が続いているため波が穏やかで、栄養分が豊富な海水が入ってくるという特徴があります。	リアス海岸	□
18	南部鉄器は、鉄鋳物による工芸品で、耐久性が高く、使い込むほどに味わいが出るのが特徴です。	南部鉄器	□
19	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県からなる地域です。	東北地方	□
20	津軽海峡は日本海と太平洋を結ぶ海域です。	津軽海峡	□
21	耐冷品種とは、低い気温でも生育が阻害されにくく、実を結びやすいように品種改良された稲のことです。	耐冷品種	□

言えなかった用語ノート

中学地理プリント（書き取り）
東北地方 No.4

名前

得点 ／21

1. 山形県で、盆地特有の気温差を生かしてさくらんぼや西洋なしなどを育てる農業を何という？
2. 三陸海岸に特徴的に見られる、山地が海に沈んで複雑に入り組んだ地形を何という？
3. 青森県と北海道の間にある、津軽半島と下北半島の北側に広がる海峡を何という？
4. 宮城県の県庁所在地であり、東北地方の政治・経済・文化の中心となっている都市を何という？
5. 福島県の東部を南北に走る、地域間の気候の違いを生み出している高地を何という？
6. 地震などの影響で海底が隆起や沈降し、海水が急激に押し寄せる自然災害を何という？
7. 宮城県で開発され、あっさりした食感でかつて全国的な人気を博した米の品種を何という？
8. 宮城県の北部など、入り組んだ海岸線が特徴的で養殖業が盛んな地形を何という？
9. ねぶた祭が毎年夏に開催される都道府県はどこ？
10. 奥羽山脈が冬に日本海側からくる風を遮ることで、気候の違いを生む要因となる風を何という？
11. やませが長時間吹き続けることで気温が上がらず、農作物の成長が妨げられる被害を何という？
12. 奥羽山脈の東西に並ぶ、山に囲まれた平坦な土地を何という？
13. 青森県のねぶた祭などが含まれる、本州の北側にある地域を何という？
14. 岩手県で伝統的な技術を受け継いで作られている、古くから全国的に有名な工芸品を何という？
15. 長い歴史の中で培われ、その土地の技法や文化を伝承している工芸品をまとめて何という？
16. 三陸海岸の沖合で、寒流と暖流がぶつかり合うことで魚が集まりやすくなっている場所を何という？
17. 東北地方を南北に縦断するように走り、この地域の地形を分ける背骨のような役割を果たす山脈を何という？
18. 秋田県にあり、雄物川の下流に広がる、稲作が盛んな平野を何という？
19. 岩手県の内陸部に広がる北上盆地などで盛んに行われている、米を栽培する農業を何という？
20. 青森県が全国で最も多く生産しており、冷涼な気候をいかして栽培されている果物を何という？
21. 福島県を分ける3つの地域のうち、最も東側に位置する太平洋側の地域を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「東北地方」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.4 東北地方

言えた　／21

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	この地形上の特徴を活かし、寒暖差が必要な果物の生産が非常に盛んです。	果樹栽培	□
2	リアス海岸は、海岸線が非常に複雑に入り組んでいて出入りが多いのが特徴です。	リアス海岸	□
3	津軽海峡は日本海と太平洋を結ぶ海域です。	津軽海峡	□
4	仙台市は宮城県の県庁所在地であり、東北地方で最も人口が多い都市です。	仙台市	□
5	「阿武隈高地」は、福島県の東部を南北に縦断する山地です。	阿武隈高地	□
6	津波は、地震による海底の地殻変動によって引き起こされる、非常に波長の長い波です。	津波	□
7	ササニシキは、宮城県を代表する米の品種として一時期全国的な人気を博しました。	ササニシキ	□
8	リアス海岸は、入り組んだ湾が続いているため波が穏やかで、栄養分が豊富な海水が入ってくるという特徴があります。	リアス海岸	□
9	青森県は歴史的に独自の文化圏を形成しており、ねぶた祭はその代表的な行事です。	青森県	□
10	冬には、シベリア方面から日本海を渡って湿った空気を運ぶ「季節風」が吹きます。	季節風	□
11	初夏に吹き込む冷たい風「やませ」の影響で夏の気温が低く推移すると、農作物が十分に育たない「冷害」が発生します。	冷害	□
12	周囲を高い山に囲まれた平坦な地形を「盆地」と呼びます。	盆地	□
13	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県からなる地域です。	東北地方	□
14	南部鉄器は、鉄鋳物による工芸品で、耐久性が高く、使い込むほどに味わいが出るのが特徴です。	南部鉄器	□
15	伝統的工芸品とは、主として日常生活で使用される器具や道具で、製造の過程が昔からの技術・技法によって行われているものです。	伝統的工芸品	□
16	この二つの海流がぶつかる境界域を「潮目（しおめ）」や「潮境」と呼びます。	潮目	□
17	「奥羽山脈」は、東北地方の中央を南北に走る山脈で、その長さから「東北の背骨」と呼ばれます。	奥羽山脈	□
18	秋田平野は、日本でも有数の面積を誇る平野です。	秋田平野	□
19	この地域では、広大な水田を利用して稲作が盛んに行われています。	稲作	□
20	青森県は日本一のりんご生産量を誇ります。	りんご	□
21	県東部の太平洋側に広がる平地を「浜通り」と呼びます。	浜通り	□

言えなかった用語ノート

中学地理プリント（書き取り）
東北地方 No.5

名前

得点 ／21

1. 長い歴史の中で培われ、その土地の技法や文化を伝承している工芸品をまとめて何という？
2. 秋田県にあり、雄物川の下流に広がる、稲作が盛んな平野を何という？
3. 青森県が全国で最も多く生産しており、冷涼な気候をいかして栽培されている果物を何という？
4. 地震などの影響で海底が隆起や沈降し、海水が急激に押し寄せる自然災害を何という？
5. 岩手県の内陸部に広がる北上盆地などで盛んに行われている、米を栽培する農業を何という？
6. 東北地方の夏の冷涼な風による冷害被害を抑えるために開発された、低温でも育ちやすい稲の品種を何という？
7. 東北地方の中央を南北に走り、日本海側と太平洋側の気候を分けている山脈を何という？
8. 青森県と北海道の間にある、津軽半島と下北半島の北側に広がる海峡を何という？
9. やませが長時間吹き続けることで気温が上がらず、農作物の成長が妨げられる被害を何という？
10. 三陸海岸に特徴的に見られる、山地が海に沈んで複雑に入り組んだ地形を何という？
11. 三陸海岸の沖合で、寒流と暖流がぶつかり合うことで魚が集まりやすくなっている場所を何という？
12. 奥羽山脈が冬に日本海側からくる風を遮ることで、気候の違いを生む要因となる風を何という？
13. 岩手県で伝統的な技術を受け継いで作られている、古くから全国的に有名な工芸品を何という？
14. 宮城県の県庁所在地であり、東北地方の政治・経済・文化の中心となっている都市を何という？
15. ねぶた祭が毎年夏に開催される都道府県はどこ？
16. 宮城県で開発され、あっさりした食感でかつて全国的な人気を博した米の品種を何という？
17. 福島県を分ける3つの地域のうち、最も東側に位置する太平洋側の地域を何という？
18. 青森県のねぶた祭などが含まれる、本州の北側にある地域を何という？
19. 福島県の東部を南北に走る、地域間の気候の違いを生み出している高地を何という？
20. 山形県で、盆地特有の気温差を生かしてさくらんぼや西洋なしなどを育てる農業を何という？
21. 宮城県の北部など、入り組んだ海岸線が特徴的で養殖業が盛んな地形を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「東北地方」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.5 東北地方

言えた　／21

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	伝統的工芸品とは、主として日常生活で使用される器具や道具で、製造の過程が昔からの技術・技法によって行われているものです。	伝統的工芸品	□
2	秋田平野は、日本でも有数の面積を誇る平野です。	秋田平野	□
3	青森県は日本一のりんご生産量を誇ります。	りんご	□
4	津波は、地震による海底の地殻変動によって引き起こされる、非常に波長の長い波です。	津波	□
5	この地域では、広大な水田を利用して稲作が盛んに行われています。	稲作	□
6	耐冷品種とは、低い気温でも生育が阻害されにくく、実を結びやすいように品種改良された稲のことです。	耐冷品種	□
7	奥羽山脈は、青森県から福島県まで東北地方の中央部を南北に走っています。	奥羽山脈	□
8	津軽海峡は日本海と太平洋を結ぶ海域です。	津軽海峡	□
9	初夏に吹き込む冷たい風「やませ」の影響で夏の気温が低く推移すると、農作物が十分に育たない「冷害」が発生します。	冷害	□
10	リアス海岸は、海岸線が非常に複雑に入り組んでいて出入りが多いのが特徴です。	リアス海岸	□
11	この二つの海流がぶつかる境界域を「潮目（しおめ）」や「潮境」と呼びます。	潮目	□
12	冬には、シベリア方面から日本海を渡って湿った空気を運ぶ「季節風」が吹きます。	季節風	□
13	南部鉄器は、鉄鋳物による工芸品で、耐久性が高く、使い込むほどに味わいが出るのが特徴です。	南部鉄器	□
14	仙台市は宮城県の県庁所在地であり、東北地方で最も人口が多い都市です。	仙台市	□
15	青森県は歴史的に独自の文化圏を形成しており、ねぶた祭はその代表的な行事です。	青森県	□
16	ササニシキは、宮城県を代表する米の品種として一時期全国的な人気を博しました。	ササニシキ	□
17	県東部の太平洋側に広がる平地を「浜通り」と呼びます。	浜通り	□
18	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県からなる地域です。	東北地方	□
19	「阿武隈高地」は、福島県の東部を南北に縦断する山地です。	阿武隈高地	□
20	この地形上の特徴を活かし、寒暖差が必要な果物の生産が非常に盛んです。	果樹栽培	□
21	リアス海岸は、入り組んだ湾が続いているため波が穏やかで、栄養分が豊富な海水が入ってくるという特徴があります。	リアス海岸	□

言えなかった用語ノート